

文学部、情報学部 (人間・社会情報学科)

問題 I

問 1

(1) 都市 A と都市 B はほぼ同緯度帯であるため、夏季の 6 ～ 8 月の気温に大きな差はみられないが、冬季の気温は都市 B が非常に低い。これは、都市 B は、大陸内部に位置し気温の年較差が大きい大陸性気候で、シベリア高気圧が発達する冬季に放射冷却により厳寒となるためである。一方、都市 A は、暖流の北大西洋海流と偏西風の影響を受け、暖かい空気が運ばれる海洋性の気候であるため、緯度の割に冬季温暖な気候となる。(192字)

(2) 図 1 中の C はチベット高原など標高が 4000m 以上の地域が広がり、気温の逓減により、1000m 標高が上昇するごとに気温が 5 ～ 6℃ 低下するため、最暖月の平均気温が 10℃ 未満 0℃ 以上となりツンドラ気候 (ET) が分布する。

(3) ケッペンの気候区分が作成された時代と比べて、地球温暖化が進行している。とくに北半球の高緯度地域では地球温暖化により気温の上昇傾向が顕著であり、これにより温帯・亜寒帯の気候区が高緯度側に拡大すると考えられる。

問 2

(1) 水稻の栽培は、年間降水量 1000mm 以上かつ生育期温暖である気候区に適しているため、年間降水量が多く、気候が温暖な熱帯気候から温帯気候が栽培適地となっている。さらに、地形的には、水がはりやすいことに加えて、圃場整備などが行いやすく、大型機械の導入が容易な、水利の良い広くて平らな沖積平野が栽培に適している。

(2) 生育期の気温が低い場合は、寒冷地の栽培に適した品種改良された水稻を導入し、降水量が不足する場合は、灌漑施設を整備することによって水不足を克服する。平らな土地を得られない山地の場合は、傾斜地を階段状に整地した棚田をつくり米の栽培を行う。

地理

名古屋大学 (前期) 2 / 4

文学部、情報学部（人間・社会情報学科）

問 3

（１）集落 D は、山のふもとに位置するため湧水にめぐまれ、水が得やすいことに加えて、河川からは標高の高い地点に位置しているため、河川氾濫の被害を受けにくい。

（２）E の集落は、集落の北側に山地があり、南向きに位置していることから太陽からの光が受けやすい集落であり、地名は日南となっている。一方、F の集落は集落の南側に山地があり、北向きに位置していることから太陽からの光が受けにくい集落となっており、地名は陰地となっている。

（３）急な斜面地は針葉樹や広葉樹の森林地帯となっており、比較的ゆるやかな斜面地は棚田として利用され、一部に畑や荒地がみられる。

問題 II

問 1

A－カナダ B－ナミビア C－マレーシア

問 2

（１）協定の名称－U S M C A 要件の名称－原産地規則

（２）I C T 産業の世界的な中心地であるシリコンバレーと同じタイムゾーンで時差がなく、リモートワークや分業が容易である。また高等教育機関などが集積して高度人材が豊富である一方、アメリカ合衆国の大都市と比較して生活費が安く、従業員が暮らしやすい環境であるため。

（３）F はフランス人の入植により開発された歴史があるため、フランス語話者が多い。E はイギリス領として成立し、アジアなどからの移民も多いため共通語として英語を話す人が多い。

地理

名古屋大学（前期） 3 / 4

文学部、情報学部（人間・社会情報学科）

問 3

（１）アーウラン イーダイヤモンド ウー風化 エーオレンジ

（２）大きな富をもたらす鉱山資源をめぐって民族間や政府・反政府勢力間で争いとなったり、鉱山資源から得られる収入を権力者が自身のものにして政治腐敗がおきたりして、社会資本整備や産業開発に国家の資金が回らなかったため。

（３）沖合を寒流のベンゲラ海流が流れ、大気の下層が冷却されて安定し、気温の逆転層が形成されることで、上昇気流が生じにくくなり、雨雲が形成されにくく少雨となるため。

他国の砂漠－アタカマ砂漠

問 4

（１）ルックイースト政策

（２）カー成長のトライアングル キージョホール クーバタム
ケー労働力 コー労働集約

（３）以前は輸出向けのエビ養殖池や食料増産のための水田の開発によりマングローブ林が伐採されていたが、近年はこれらの割合が低下し、油脂や加工食品、洗剤などの工業製品の原料となる油やしの生産・輸出のために農地に転換される割合が上昇している。

文学部、情報学部（人間・社会情報学科）

問題Ⅲ

問 1

(1) A－エ B－ア C－ウ

(2) 上下水道の整備により安全な水を提供することで感染症の拡大を防ぎ、医療体制の確立により病気の際の治療が可能となる。

食料生産の安定と供給網の整備を図ることで、基礎体力や免疫力が向上し、病気に罹患しにくくなる。

問 2

(1) X－風力発電 Y－太陽光発電

(2) X－冬の北西季節風を含め年中通して風が強い青森県や北海道の海岸沿いや山地に立地する。

Y－太陽光が安定してあたる必要があることから、冬の降雪がなく日照時間の長い太平洋側の県に立地する。

Z－地中深くの高温の水蒸気を利用することから、火山活動が活発な九州や奥羽山脈周辺の県に立地する。

(3) 電力をためておく蓄電装置の利用と、ICTを活用して電力の需要と供給を制御するスマートグリッドの活用。

太陽光発電の昼間の余剰電力で汲み上げた水を用いる揚水発電や、夜間は火力発電を利用するなど、様々な発電方式を組み合わせる。

問 3 温室効果ガスの排出削減目標は国を単位に設定されるが、国際海運の場合、船舶の船籍はパナマなどの便宜置籍船国で実際の船主や船舶を利用する国が異なるほか、出発国や終着国も異なることから、どの国が温室効果ガスの削減対象国か判定することが難しいため。